

サシバエ対策を始めよう！！

サシバエは春から発生し、お盆から9月頃が最も多くなります。家畜や人にもストレスや痛みを与えるばかりか、感染症を媒介するなど、農場にとってその被害は大きいものです。

発生が本格化する前に対策を行いましょう。



サシバエの特徴

- 飛ぶ能力が高く（約4 km）、雄雌ともに針状の口で吸血し牛や人への被害あり。
- 牛舎付近に生息し、古めの糞や堆肥場で発生。
- 卵から2週間程度で成虫へ。成虫は2～3ヶ月程度の寿命。
- 生涯800個程度を産卵し繁殖性が高い。
- 蛹は越冬する。

殺虫剤による駆除

- 幼虫の駆除には・・・ 幼虫に効果のある剤、IGR剤（昆虫成長制御剤）を使用。ハエのライフサイクルに合わせて月に1～2回発生源に噴霧、散布します。
- 散布場所は・・・ 堆肥盤周辺、バークリナー出口付近、スクレーパーが届かない場所、畜舎の柱や四隅の除糞しにくい場所、飼槽、水槽周辺、カーフハッチ周辺など
- 薬剤の選択は・・・ 薬剤抵抗性への対応として異なる系統の薬剤をローテーションすると良いでしょう。

対象	使用法	系統/分類	製品名
成虫・幼虫	噴霧・散布	ピレスロイド系	フロムエイト・動物用ETB乳剤
			ペルメトリン乳剤など
		有機リン系	動物用スミチオン乳剤など
ピレスロイド・有機リン混合剤		スミロールなど	
成虫		ピレスロイド系	バイオフィライ・フタスミンなど
幼虫		IGR剤（昆虫成長制御剤）	サイクラーテ・ネポレックスなど
	シアナミド	石灰窒素	

*注意

畜体に使用できない製品が多いので十分注意して御使用ください。

殺虫剤等は、使用法、濃度を正しく守って使用し、使用記録を残しましょう。

使用時には、手袋、マスク、ゴーグル等を使用し人体に影響のないように。

(2021年6月発行 十勝農業改良普及センター十勝東北部支所)